

5月号 農山村ネットだより

発行元

とよた都市農山村交流ネットワーク

代表 山本 薫久

豊田市杉本町三斗成 1-3

旧杉本保育園を活用する会農山村交流・中継センター

tel・fax 0565-68-1113

新役員決まる（23年度総会）

幹事

世話人（代表）山本薫久（足助）

世話人補佐（副代表）鈴木正晴（旭） 新実一俊（下山）

安藤公朗（旭） 小川光夫（足助） 梶誠（足助） 鈴木智（足助） 可児和義（稲武）

仁熊信子（稲武） 池野雅道（小原） 西村文子（小原） 柴田吉朗（下山）

※交流市民の会からは西川早人

監査役

鈴木邦夫（足助） 戸田友介（旭）

新実一俊議長の進行もと、議案が無事可決され、いよいよ23年度がスタート。セカンドスクールも2校の参加が決まり、また各地域会が中心となった交流事業や日帰り体験事業、トヨタ自動車労組の農業体験講座の継続と新たにトヨタ生協労組の田んぼ体験も計画され、ひとまわり大きく広く都市と農山村の交流事業を展開します。

会員研修も昨年に続き、「農家力アップ、連帯力アップ」をめざし実施します。山里学校開催、ホームページ更新、あらたに「定住コーディネート」として定住にむけた取り組み、山里で活躍する多団体と協働で「農山村へのシフト」の講座、シンポなど農山村の過疎化をとどめ、農山村振興と持続可能な豊田市のために多くの市民に働きかけをします。

総会の最後に豊田市産業部部長の鈴木辰吉氏から「東日本大震災をとおして、故郷を守る大切さを痛感している。豊田市では『農山村に新しい風がふいている』と思います。共にがんばりましょう。」と力強い激励をいただきました。

セカンドスクール参加校、決まる！9月20日から22日

小学校5年生の子達が農家などにホームステイして「暮らし」を体験するセカンドスクール。今年度も豊田市内の小学校の5年生が対象ということでしたが、昨年に続き五ヶ丘小学校と新規に五ヶ丘東小学校に決まりました。

会員研修会の日程など 一部紹介

7月19日(火) 午後6時30分から杉ん子の里（農山村交流・中継センター）

「セカンドスクール研修会」講師 学校カウンセラー近藤先生（予定）

8月9日(火) 10時から西村自然農園 「夏の料理」人間回転寿司 夏巻き

食材実費1500円

10月11日(火)バス日帰り研修 岐阜県白川町「ごえんのうじょう」昼食は実費

その他 子ども農山漁村交流プロジェクト先進地1泊2日研修（2月下旬予定）

和歌山移住の安達夫妻の「和歌山農山村暮らし」（予定）

椿油や石鹼づくり講習会(予定)

秋 発酵食品、干し野菜など講習会 講師伊藤美寿代さん 福蔵寺(予定)

旭地区

旭地区

○「すてきな春みつけ」山菜採りと草餅の会

4月23日(土)豊田市太田町の「板取の家」で実施しました。あいにくの雨でしたが、親子づれ、山菜に興味のある人23名の参加がありました。雨のため山菜採りは中止、急きょ「おからボール」作りに変更して会がスタートしました。おからにタケノコやクレソンを混ぜ合わせて、みんなでおからボール作り。できあがったボールは、スタッフがあらかじめ用意した山菜と一緒に天ぷらに。食卓を囲んで、タラ、コシアブラ、ウドなどの他、カラスノエンドウ、リョウブ、タカノツメ、カキドオシなどの天ぷらを味わいました。おからボールは「おいしい」となかなかの評判でした。「リョウブが一番苦みが強かった。」「カキドオシは独特の香りがするけど、結構いける。」普段あまり口にしないものにも挑戦しました。イタドリの塩もみはさっぱりしていて、あつという間になくなりました。このほかにも、ワラビ、ゼンマイ、セリのごま和えなど、事前に調理した試食品もずらり。

天ぷらの後は、草餅つき。ぺったんこ、ぺったんこ、交代しながら杵を持つ人にみんなのかけ声がかかります。「臼でついた餅は、やっぱりうまいね。」ヨモギの香りを楽しみながら、あんこ、きなこ、ごま、おろし

大根など思い思いのものをつけて、腹一杯ほおばりました。

今回は、山菜について特徴や食べ方、特に毒草について話をする機会がもて、「勉強になった」「楽しかった」という声が多くの方からいただきました。また、いろいろな会を通じてのリピーターが多く、ネットワークが機能していることを実感しました。



交流市民の会

大豆会議・発進！！・・・交流市民の会・・・

「自分たちで大豆を作り、それで、味噌をつくらう！」今年1月、交流市民の会味噌作りの講座でこのような意見が出て、「そうだ。そうだ。やろ～」と瞬く間に意見が一致。先月の打ち合わせをへて、5/4に畑の整備と段取りなどを確認しました。

6人参加のうち、4人はクワを使うのははじめて。最初は勢い込んで始めてもすぐ、ふうふうとためいきばかりです。教えて頂く地元の方が「こんなふうにはやれば・・・」と実に無理ないクワさばきに・・・みな、感心！！・・・さあ、大豆はできるのでしょうか・・・乞うご期待！！



下山地区

3/27 (日) 10年後を夢見て

恒例の三河湖周辺の植栽活動を行いました。

今回で4回目となり参加者も年々増えて80余名となり、イチヨウ25本・ドウダンツツジ75本の計100本を10年先を夢見て植栽しました。

子どもたちもスコップを片手に頑張っていました。

その後、森林組合の方々の指導のもと、シイタケの菌打ち体験を6,000コマ、2時間半ほどかけて行いました。

前回菌打ちを行った立派なしいたけを食べるつもりでしたが、今年は寒さのため小さく残念でした。来年こそは・・・

当日参加してくださった三河湾浄化市民塾、安城まちづくり市民会議、岡崎水泳協会、平針スイミングの子どもたち、NPO アングルカフェのみなさん、またお手伝いくださった、下山支所、森林組合、三河湖共栄会の方々、本当にご苦労様でした。



4/17 (日) 里山に泳ぐ鯉のぼり

快晴の中、羽布自治区のみなさんと今年も鯉のぼりを立てました。

巴ヶ丘小学校下、手づくり工房山遊里対岸、香恋の館、川合の田んぼの計4ヶ所を40名ほどで作業を行いました。

今回は45本程と本数を減らしましたが、1本ずつまっすぐになるよう時間をかけました。

青空に泳ぐ鯉のぼりはとてもステキです。

当日は選挙で何かと忙しい中、みなさんご苦労さまでした。

稲武地区

この時期の稲武は本当に美しい。山桜のうすいピンクが山の緑とパッチワークのよう、ヤマブキの黄色が鮮やかに、田植えの始まったたんぼではカエルが合唱をはじめ、うぐいすの鳴き声も。この間は青い小鳥も見つけました。ぜひ稲武の美しさを味わいにおいでください。6月後半からはホタルも見ることができます。

5月、6月の体験イベントのご案内 詳細は電話、ホームページにてご確認ください。

山里C y a f e 0565-83-3003 <http://www.d2.dion.ne.jp/~nikuma/>

5月29日(日) 田植え体験 8時半集合

稲武で開発された品種「みねはるか」を手植えします。

無農薬での米作りです。バーベキュー付き、前日からの泊まりもOKです。

6月11日(土) 命をいただく 14時集合

ニワトリを絞め、さばいていただきます。命を知り、命に感謝します。

どんぐり工房 0565-83-3838 <http://inabu-kankou.com/>

5月28日(土) あんから作る柏餅

6月11日(土) 布草履づくり

6月18日(土) 2食うどん作り

6月25日(土) うぐいす笛づくり



足助地区

4月10日 新盛里山耕流塾〔もりの里☆市民農園〕の開耕式を実施しました
今年度は米作りコース9グループ、野菜作りコースは9グループ、計18グループにてスタートし其の内6グループが2区画の利用となりました。

皆さん夢は大きく、有機栽培に挑戦されます、

＊ お知らせ ＊

前から新築工事をしていた、拠点施設「豊田市里山くらし体験館」が完成しました。



愛称は「すげの里」と命名されました、応募総数50件の中から選ばれました、(矢作研の洲崎燈子さんの作品です)

5月22日にオープン式典が行なわれます、

いよいよ「すげの里」が動き始めより多くの方のご利用を期待していますので、皆さん気楽に寄り集まり利用しましょう。

利用、宿泊については、足助支所地域担当、里山耕流塾、すげの里、いずれかに御確認下さい。

6月5日に新盛ウォーク開催します、只今参加者募集中です、

主催は新盛自治区、里山耕流塾です、詳しくは新盛里山耕流塾実行委員会までおたずね下さい。「すげの里」出発、到着です

お知らせ

とよた都市農山村交流ネットワーク 会費納入のお願い
です。振込用紙を同封しますので、会費納入をお願いいたします。尚、行き違いにより、すでに納入されている方については、破棄願います。今後とも、よろしくお願いいたします。

小原地区

おばら山菜園 オープン！

とよた農山村ネット、小原地区の会員である小原北部生活改善センターの二村さん、児島さんが中心となって、高齢者の生きがいと年農村交流の推進のために、村に山菜園をつくりました。小原のおじいちゃん、おばあちゃんが里山の地主として土地を整備し、児島さんが地域の窓口となって、山菜をとりたいまちのかたをお招きします。1月から4月にかけて、名古屋大学との連携し、山菜園のコンセプト作り、パンフレットの作成、看板の設置を行いました。

メンバー6名は、みな「里山のプロ」ではありますが、都市農村交流の担い手としては初めての取り組みです。何事も、やってみなくちゃわからない！やってみて、だめだったところを変えていこう！そういう気持ちで、小さく、小さくオープンをしました。今年度は、顔見知りのお客さんをお招きしながら、自分たちの魅力を少しずつ作り出していきたいと考えています。まだまだ、地域としても初めての取り組みです。農山村ネットの会員の皆さん、ぜひ山菜園に遊びに来て、私たちとこのおばら山菜園を育てていってください。

おばら山菜園 予約 0565-65-3905(宝仙奈 内)

一人2時間 500円 小学生以下無料

(児島 寿和子)



●「旭木の駅プロジェクト」終了

「旭木の駅プロジェクト」の社会実験が終わりました。当初50tを目標にしていた出荷でしたが、大幅に予想を上回り、90t集まりました。農山村ネット幹事さんも出荷者登録をしていらっしゃる方がいます。みなさん、お疲れ様でした。モリ券も順調に使ってもらい、旭地区の商店（登録制）で、13店舗で40万円の売り上げでした。大儲けできないけれど、関わった人がちょっとだけ幸せになれるプロジェクトでした。

この手応えを次へつなげるため、6月6日（月）旭支所2F会議室にて、「旭木の駅プロジェクト 報告会」を行います。結果報告と、今後の展開を地域のみなさんで考え、実行していくためのスタートです。興味のある方は是非おいで下さい。

とよた都市農山村交流ネットワークでは会員を募集しています。

農林業体験希望者を受け入れてもいいかなあ。花木や昆虫のことなら聞いて！

農業はダメだと料理は自信があるわ。農家で泊めてあげるよ。炭焼きならできるんだけど…。

などなど、体験の受入れをしていただける方、お手伝いをしていただける方はご連絡下さい。

都市部の方でもOKです。いろいろな協力をお願いします。皆で一緒に楽しみましょう。

